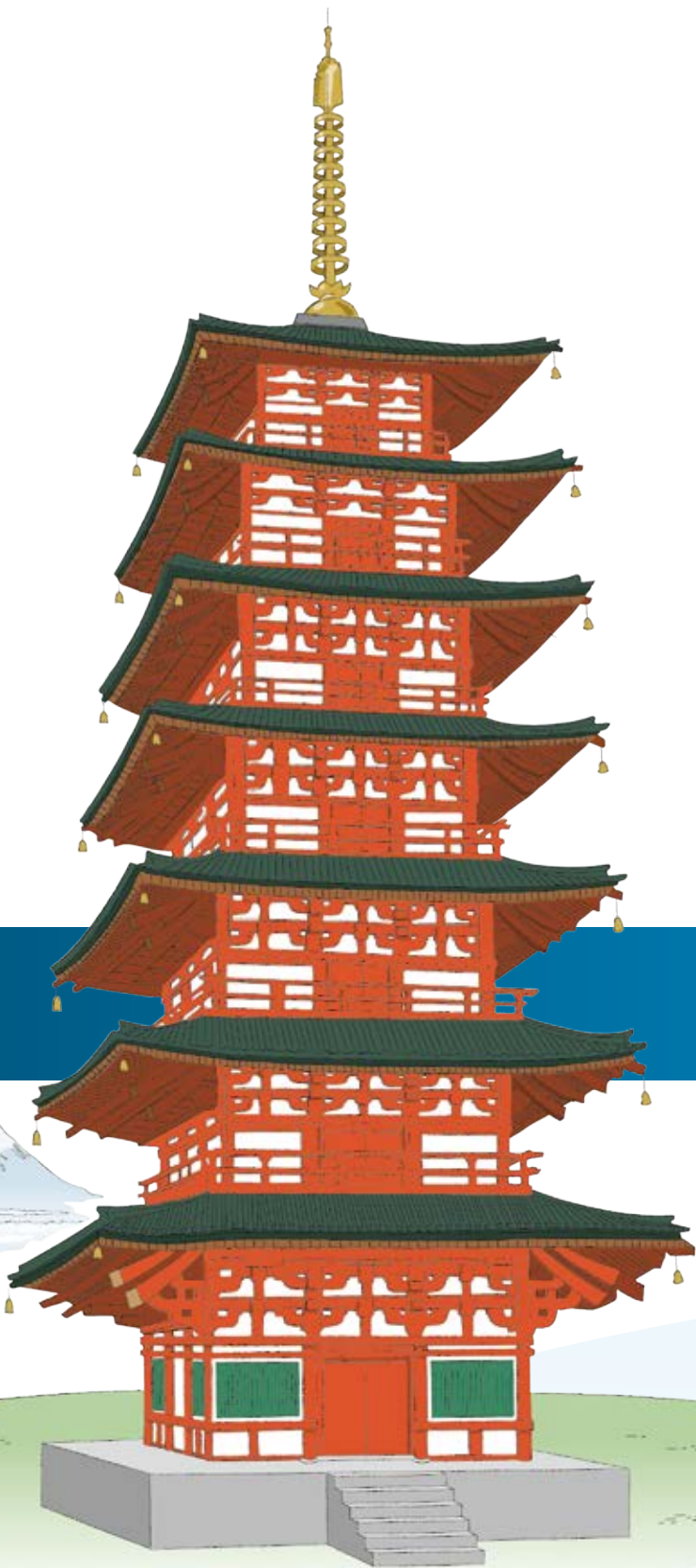


下総国庁が整備され下総国分寺の建立が始まる



下総国分寺七重塔想像図

「右京」銘墨書土器

国府台に南北道路が縦断

この頃から下総国府で遺跡が増加
武蔵国が東海道に編入される

奈良時代

東大寺大仏の開眼供養
養老律令の施行
道鏡が法王となる
東北地方で大規模な蝦夷の
反乱が始まる

長岡京に遷都
平安京に遷都

下総国の駅路が改変される
東北地方の大規模な反乱が終わる

藤原良房が摂政となる

藤原基経が関白となる

遣唐使が廃止される

国風文化の成立、仮名文字の普及

平将門の乱が始まる

藤原純友の乱が始まる

この頃から摂関政治が隆盛する

尾張国の郡司や百姓が国司の非法を朝廷に訴える

『枕草子』が成立

『源氏物語』が成立

平安時代

市川のできごと

葛飾八幡宮千本公孫樹生育
関東地方で大地震が起こる
太日川（現江戸川）の渡船が増加される
「井上」「遊女」銘墨書土器
下総国で俘囚（捕虜）となった蝦夷が
反乱して官寺（下総国分寺か）を焼く

この頃から下総国府が大きく変わる

全国国府サミット in 市川 開催記念

市川のあゆみ